

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月10日

上場会社名 ジャニス工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 5342 URL http://www.janis-kogyo.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山川 芳範
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 富本 和伸 (TEL) 0569-35-3150
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,450	△6.8	11	△91.8	26	△82.8	2	△98.1
27年3月期第2四半期	2,630	11.9	142	17.9	154	17.4	137	18.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第2四半期	0.14		0.14					
27年3月期第2四半期	7.47		7.41					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,997	2,742	54.3
27年3月期	5,080	2,834	55.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 2,715百万円 27年3月期 2,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	3.00	3.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	0.5	20	△89.4	40	△80.6	5	△97.3	0.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期2Q	19,167,715株	27年3月期	19,167,715株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	971,441株	27年3月期	861,488株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期2Q	18,261,970株	27年3月期2Q	18,455,660株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 期末自己株式数並びに期中平均株式数については、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式493,000株を含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	6
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	7
（4）四半期財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復してきております。また海外経済におきましては、アジア新興国の景気が下振れしていますが、先進国を中心に緩やかに成長が続いております。今後につきましては、各種政策の効果もあり企業収益や雇用環境が改善する中で緩やかに回復していくことが期待できます。一方で、先進国の成長ペースの鈍化や新興国の更なる下振れによって、わが国経済の景気が影響を受けるリスクを依然として抱えております。

当社関連業界におきましては、前年落ち込んだ新設住宅着工戸数が2015年3月以降6ヶ月連続して前年比プラスに転じております。今後も、雇用や所得環境が改善していく中で底堅く推移していくものと思われれます。

こうした状況の中、第4次中期経営計画を策定し、お客様にお役立ちできる『提案営業』を推進し、「フロントスリム」トイレを中心とした拡販に注力し、売上高の拡大を図ってまいりました。生産面では、従来より全社で取り組んでおりますコスト削減活動を進めるとともに、『業績を尊重する精神』を全社員が常に意識し、製造原価低減を中心に収益率の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は、2,450百万円（前年同期比179百万円減）となりました。営業利益は、円安による燃料高騰による影響等により11百万円（前年同期比130百万円減）、経常利益は26百万円（前年同期比127百万円減）、四半期純利益は2百万円（前年同期比135百万円減）となりました。

なお当社は、衛生機器の製造・販売の単一セグメントであります。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて、181百万円減少して2,166百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少108百万円、受取手形及び売掛金の減少39百万円、製品の減少22百万円、電子記録債権の減少13百万円によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて、98百万円増加して2,831百万円となりました。これは主として、有形固定資産の増加144百万円と投資有価証券の減少42百万円によるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末と比べて、82百万円減少して4,997百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて、79百万円増加して1,211百万円となりました。これは主として、設備関係支払手形の増加147百万円と支払手形及び買掛金の減少73百万円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて、70百万円減少して1,043百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少36百万円、リース債務の減少22百万円、繰延税金負債の減少13百万円によるものであります。この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、9百万円増加して2,255百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前事業年度末に比べて、91百万円減少して2,742百万円となりました。これは主として、繰越利益剰余金の減少59百万円、その他有価証券評価差額金の減少29百万円によるものであり、自己資本比率は54.3%となりました。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べて108百万円減少し、425百万円となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、84百万円（前年同四半期は130百万円の増加）となりました。主な内訳は、減価償却費71百万円、売上債権の減少52百万円、たな卸資産の減少28百万円による資金の増加と、仕入債務の減少73百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、70百万円（前年同四半期は80百万円の減少）となりました。これは主として有形固定資産の取得に伴う支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、122百万円（前年同四半期は65百万円の減少）となりました。主な内訳は、配当金の支払額55百万円、長期借入金の返済による支出36百万円、リース債務の返済による支出20百万円による資金の減少によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績と、最近の市場環境等を勘案し、平成27年5月13日付「平成27年3月期決算短信」にて発表いたしました平成28年3月期の通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日、別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の算定方法

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	534,221	425,945
受取手形及び売掛金	1,099,326	1,059,949
電子記録債権	26,552	13,000
製品	501,102	478,116
仕掛品	59,406	55,755
原材料及び貯蔵品	108,209	106,726
前渡金	1,423	—
前払費用	9,823	11,690
その他	8,454	15,682
流動資産合計	2,348,522	2,166,867
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	331,456	330,333
構築物（純額）	18,343	17,424
機械及び装置（純額）	255,405	422,889
車両運搬具（純額）	1,295	1,058
工具、器具及び備品（純額）	21,821	19,888
土地	1,467,548	1,467,548
建設仮勘定	156,714	137,813
有形固定資産合計	2,252,584	2,396,956
投資その他の資産		
投資有価証券	260,818	218,260
出資金	120	120
長期前払費用	3,925	2,067
差入保証金	36,910	36,570
投資不動産（純額）	172,299	171,483
その他	8,126	8,100
貸倒引当金	△2,500	△2,500
投資その他の資産合計	479,700	434,102
固定資産合計	2,732,284	2,831,058
資産合計	5,080,807	4,997,926

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	626,534	553,355
短期借入金	130,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	73,880	73,880
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
リース債務	44,973	45,202
未払金	34,485	40,373
未払費用	49,211	31,244
未払法人税等	8,929	22,294
未払消費税等	19,076	15,601
前受金	5,167	5,167
預り金	9,848	4,844
設備関係支払手形	38,167	185,377
賞与引当金	72,676	64,626
流動負債合計	1,132,949	1,211,967
固定負債		
社債	60,000	50,000
長期借入金	150,210	113,270
リース債務	75,979	53,320
繰延税金負債	34,815	21,203
再評価に係る繰延税金負債	356,998	356,998
退職給付引当金	340,337	351,108
資産除去債務	10,672	10,793
長期末払金	2,430	3,882
長期預り保証金	82,403	83,261
固定負債合計	1,113,847	1,043,837
負債合計	2,246,796	2,255,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金		
資本準備金	100,000	100,000
その他資本剰余金	84,045	84,045
資本剰余金合計	184,045	184,045
利益剰余金		
利益準備金	22,174	27,814
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	903,138	843,677
利益剰余金合計	925,313	871,492
自己株式	△120,276	△138,958
株主資本合計	1,989,082	1,916,579
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	99,777	70,121
土地再評価差額金	728,358	728,358
評価・換算差額等合計	828,135	798,479
新株予約権	16,792	27,062
純資産合計	2,834,010	2,742,121
負債純資産合計	5,080,807	4,997,926

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,630,128	2,450,431
売上原価	1,961,998	1,916,676
売上総利益	668,129	533,755
販売費及び一般管理費	525,646	522,136
営業利益	142,482	11,618
営業外収益		
受取利息	43	50
受取配当金	3,015	3,140
受取賃貸料	23,379	29,252
その他	7,770	3,883
営業外収益合計	34,208	36,325
営業外費用		
支払利息	1,880	1,959
売上割引	14,135	13,179
その他	6,196	6,166
営業外費用合計	22,211	21,305
経常利益	154,479	26,639
特別損失		
固定資産除売却損	592	6,891
特別損失合計	592	6,891
税引前四半期純利益	153,886	19,747
法人税等	15,970	17,171
四半期純利益	137,916	2,576

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	153,886	19,747
減価償却費	81,328	71,162
株式報酬費用	9,860	10,270
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,845	△8,050
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,088	10,770
受取利息及び受取配当金	△3,059	△3,190
受取賃貸料	△23,379	△29,252
支払利息	1,880	1,959
固定資産除売却損益 (△は益)	592	6,891
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,069	52,929
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△49,222	28,119
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,991	△73,178
その他	△23,885	△28,983
小計	125,875	59,195
利息及び配当金の受取額	3,022	3,153
賃貸料の受取額	23,379	29,252
利息の支払額	△1,764	△1,849
法人税等の支払額	△19,570	△5,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	130,941	84,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△60,025	△69,999
その他	△20,490	△294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,516	△70,293
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	30,000	20,000
長期借入金の返済による支出	△36,940	△36,940
社債の償還による支出	△20,000	△10,000
自己株式の取得による支出	△2,765	△18,681
自己株式の売却による収入	19,240	—
配当金の支払額	△55,066	△55,870
リース債務の返済による支出	—	△20,726
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,532	△122,218
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15,107	△108,275
現金及び現金同等物の期首残高	621,787	534,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	606,680	425,945

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社の事業は、衛生機器の製造・販売の単一セグメントであり、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。